

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課香川公民館	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	鈴木 朗	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	1 人	1 人	3 人	0 人	6.24 人	74 時間	6.2 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
社会教育事業・イベントの参加者数	48,282人	50,000人	42,918人	49,636人	37,220人
文化財の指定件数	43件	49件			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	家庭教育・幼児期の教育の支援
2	地域の教育力の向上
3	効果的な社会教育の推進
4	地域の学習拠点としての公民館の充実
5	文化財の保護・活用
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円)	R元予算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生ま れた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
1	公民館利用者活動 支援事業(公民館)	4	1.93	一般	8,268,000 ----- 8,170,329	8,120,000 ----- 7,971,180	利用者の意見を幅広く聴きながら、物品の購入や施設の 修繕を行う等安全で利用しやすい施設運営を行うことが できた。		利用件数(年間)	3,500件	3,112件	S	変動 なし	●		
2	社会的要請課題を テーマとした事業(公 民館)	3	0.53	一般	290,000 ----- 230,300	189,000 ----- 167,000	防災、環境、福祉、少子・高齢化、情報化等の社会的要請 課題をテーマとした事業を展開し、市民の学習活動の活 性化に寄与した。		事業数	15事業	19事業 620人	S	変動 なし			
3	子ども事業(公民館)	2	0.53	一般	337,000 ----- 330,000	391,000 ----- 364,553	公民館利用団体やボランティアグループ等と連携を図り、 体験型の学習を実施し、地域でのふれあいや仲間作りを 促進し、子ども達の居場所づくりの創出に寄与した。		事業数	11事業	9事業 1,590人	S	変動 なし			
4	家庭教育支援関連 事業(公民館)	1	0.35	一般	147,000 ----- 140,400	160,000 ----- 117,400	少子化、核家族化が進む中、地域の関係団体等と連携 し、子育ての悩みや不安を持つ保護者を支援するための 事業を実施し、保護者が気軽に参加できる憩いの場や 交流の場の創出に寄与した。		事業数	6事業	6事業 478人	S	変動 なし			

[illegible]

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>〈5公民館としての取り組みと成果〉</p> <p>5月及び2月にイオン茅ヶ崎中央店において、公民館活動を紹介する展示や主催事業をワークショップ形式で実施する「公民館フェスタ」(2月については新型コロナウイルスの影響で展示のみ)を開催し、学習体験を通じた周知を行った。さらに市民ふれあいプラザで開催された「みんなの消費生活展」や「茅ヶ崎まなびWEEK」でのパネル展示、「市民便利帳」や「茅ヶ崎市高齢者のガイド」、「茅ヶ崎市子育てガイドブック愛」等の冊子に公民館のページを設けることで、多世代へ公民館のPRに努めた。</p> <p>また、5館共通の事業として、フレイルチェック(高齢福祉介護課)やわたしの覚え書き書き方講座(高齢福祉介護課)、乳幼児健康相談(健康増進課)、普通救命講習(消防指導課)、スマイリングままサロン等の講座を関係課とも連携しながら開催し、全市的な課題に取り組んだ。さらにインターンシップ生を受け入れ、公民館事業に携わってもらうだけでなく、若者の視点から若い世代の方々に公民館を利用してもらうために必要なことについて検討を行った。</p> <p>このように5館が連携し、様々な機会を捉えて、日頃の公民館活動のPRを行うことで、新たな利用者の掘り起こしに繋がっていると考える。また、地域に根ざした公民館として活動しながら、全市的な課題には5館が一体となって引き続き取り組んでいく。</p> <p>〈香川公民館の取り組みと成果〉</p> <p>香川公民館の第4次実施事業の事務事業数は、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」を除き12事業あり、その内政策的事業は9事業ある。新型コロナウイルス感染症まん延により、一部事業を中止したが、評価対象となる全ての政策的事業のうち、子ども事業については、イベントを統合するなど精査した結果、一部の事業数は減少したものの、目標値を概ね達成し、「S」とし、学習成果の還元事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1事業を中止し指標は達成しなかったものの、他の事業については成果はあったことから「A」とした。また、施策指標「社会教育事業・イベントの参加者数」は、前年と比べて25%減となった。この理由としては、上記と同様に、新型コロナウイルスまん延防止のため中止としたためである。</p> <p>なお、実施した殆どの事業については、概ね募集定員に近い参加者であり、アンケート結果から多くの参加者が満足した結果となった。</p> <p>今後も、地域の社会教育の拠点施設として、利用団体や来館者等の意見を聞きながらニーズを的確に把握し、地域住民、小中学校、他関係団体と連携し公民館活動の充実に努め、地域コミュニティ向上を推進していきたい。</p> <p>職員の時間外勤務は、平成30年度は総時間74時間、一人当たりの月平均6.2時間であったが、前年度と比較して総時間は44時間、一人当たりの月平均では3.6時間減少した。今後も、少ない職員体制であるが、事務の効率化や職員の協力体制を引き続き見直し、より一層の時間外削減に努めワークライフバランスを図っていきたい。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
1	公民館利用者活動支援事業	5館で契約する事務の契約手法等を精査し、経費削減等について引き続き検討する。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
－	－	個々の担当業務の進捗状況等を確認する中で、全事業の見直しを検討した。その結果、第4次実施計画作成の際に適切に事業の統合等を図ったことから、現時点での事業の休・廃止は困難である。しかしながら、引き続き5館で連携して改善を行うことで効率的な事業運営を図っていきたい。